

## I. 中心市街地全体に係る評価

○計画期間：平成27年12月～令和3年3月（5年4月）

### 1. 計画期間終了時点の中心市街地の概況

本市は、平成27年12月に基本計画の認定を受け、「人でにぎわうまちづくり」、「ふるさとを活かしたまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」の3つの方針のもとで事業を実施することにより、「人が集まり、歩いて楽しめ、元気に暮らせる中心市街地」を目指して、2核1モールを中心に各事業に取り組んできた。

核の1つである角盤町周辺エリアにおいては、計画策定直後の平成28年1月に地元の大型スーパーである「やよいデパート」が撤退、以降再活性化に向けた取組を官民挙げて検討、実施してきた。その結果、跡地を利用した「ひまわり駐車場整備事業」により、中心市街地への来街者の増加、利便性向上につながる大型駐車場を整備することができた。加えて、当該駐車場の一部を活用したソフト事業が継続的に実施され、中心市街地の賑わい創出に大きく寄与している。一方で、「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」や「商都米子再興戦略・商業施設整備事業」については事業実施に至らなかったが、事業計画場所である旧米子高島屋東館が体験型複合施設「GOOD BLESS GARDEN」として整備され、新たなにぎわいの拠点となっている。現在も、周辺で実施されるソフト事業と連携・連動し、エリア全体で相乗効果を発揮できるよう検討を重ねている。

もう一つの核である米子駅周辺エリアについては、近年の飲食店の出店や、相次ぐホテル進出など継続的な民間投資がみられており、来街者の増加による一層の地域活性化が期待されている。今後は令和3年3月に着工となった「米子駅南北自由通路等整備事業」と相乗効果を生むまちづくりを行っていく必要がある。

この5年間の取組により、中心市街地に賑わいの兆しは見られるものの十分なものとは言えず、今後は更なる中心市街地の活性化及び全市的な波及効果が必要とされる。この5年間の取組で官民協働の下地がより強固なものとなったことを活かし、現在までの取組から浮き彫りとなった課題、活かすべき点を踏まえたウォークアブル推進事業等、発展的な各施策を実施し、事業効果が最大限発揮されるまちづくりを推進していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

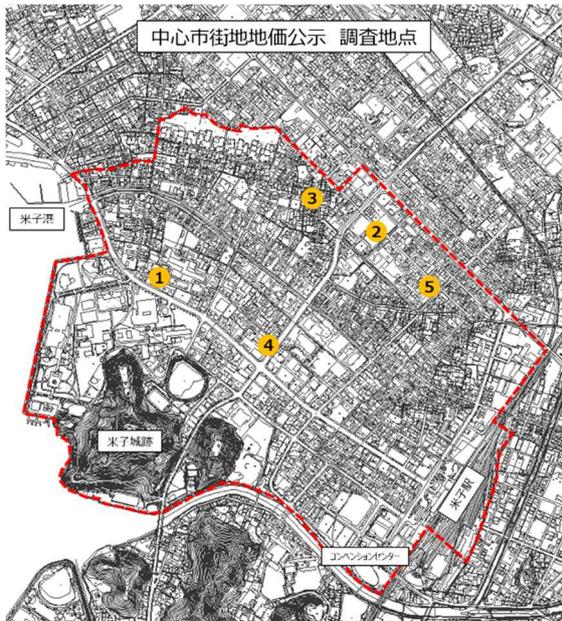
(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地 地区域)	平成26年度 (計画前年度)	平成27年度 (1年目)	平成28年度 (2年目)	平成29年度 (3年目)	平成30年度 (4年目)	令和元年度 (5年目)	令和2年度 (6年目)
人口	5,004人	4,942人	4,885人	4,770人	4,672人	4,594人	4,515人
人口増減数	-75人	-62人	-57人	-115人	-98人	-78人	-79人
自然増減数	-34人	-64人	-45人	-70人	-66人	-65人	-65人
社会増減数	-41人	+2人	-12人	-45人	-32人	-13人	-14人
転入者数	314人	387人	329人	304人	299人	312人	283人

(2) 地価

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地区域)		平成26年度 (計画前年度)	平成27年度 (1年目)	平成28年度 (2年目)	平成29年度 (3年目)	平成30年度 (4年目)	令和元年度 (5年目)	令和2年度 (6年目)
①	西町 117-2 (第1種住居地域)	50,500円	49,800円	49,300円	49,300円	49,500円	49,900円	49,900円
②	角盤町 1丁目 24-8 (商業地域)	103,300円	97,300円	87,500円	78,000円	H31.1.1より除外		
③	朝日町 26 (商業地域)	56,000円	54,800円	53,700円	52,700円	52,000円	51,500円	50,000円
④	加茂町 1丁目 26外 (商業地域)	85,000円	83,600円	83,000円	83,000円	83,500円	83,500円	82,500円
⑤	角盤町 1丁目 3-5 (商業地域)	41,000円	41,000	41,000円	41,000円	41,000円	41,000円	41,000円



2. 計画した事業等は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地は活性化したか。(個別指標ごとではなく中心市街地の状況を総合的に判断)

【進捗・完了状況】

- ① 概ね予定通り進捗・完了した      ② 予定通り進捗・完了しなかった

【活性化状況】

- ① 活性化した  
② 若干活性化した  
③ 計画策定時と変化なし  
④ 計画策定時より悪化

3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由(2.における選択肢の理由)

基本計画に位置付けた事業は、全72事業(再掲を除く。)であり、そのうち16事業が完了、53事業が実施中、3事業が未着手となっており、概ね順調に進捗・完了したと言える。

中心市街地を取り巻く環境としては、市全体と比較しても高齢化が進行しており、人口も減少傾向にある。加えて、計画認定直後の平成28年1月には、地元の大型スーパーである「やよいデパート」が閉店したこともあり、依然として厳しい状況にある。こうした状況の中、官民を挙げて基本計画の推進、中心市街地の再活性化に取り組んできた。

具体的には閉店した大型スーパー跡地を、来街者の増加、利便性の向上につながる大型駐車場として整備し、当該駐車場の一部を活用したソフト事業が継続的に実施され、賑わい創出に大きく寄与している。令和元年度には、旧米子高島屋東館が体験型複合施設「GOOD BLESS GARDEN」として整備され、賑わい創出の拠点となっている。今後も、周辺で実施されるソフト事業と連携・連動し、エリア全体で相乗効果を発揮できるよう検討を重ねている。

こうした状況から、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、今後の中心市街地活性化に繋がる兆しは見えてきていることから、中心市街地は「若干活性化した」と考える。

#### 4. 中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

##### 【活性化状況】

- ① 活性化した
- ② 若干活性化した
- ③ 計画策定時と変化なし
- ④ 計画策定時より悪化

##### 【詳細を記載】

基本計画では、角盤町周辺エリアと米子駅前周辺エリアを中心市街地における2核と位置付け、角盤町周辺エリアではリーディング事業となる「商都米子再興戦略：キッズサポート施設整備事業」を商店街振興組合、百貨店、行政と協働し、市民の意見を反映させながら計画を策定した。また、リーディング事業に続く第2次の事業も策定しており、平成28年度の事業実施に向け、国の補助金への応募を行ったが採択に至らず、予定していた事業が実施できなかった。また、時期を同じくして中心市街地にある「やよいデパート」の閉店や「米子高島屋東館」の建物利活用問題もあり、中心市街地における大型商業施設消失の危機感が漂った。

そこで、商店街、大型店、エリアの商業者、やよいデパート債権者の金融機関、報道機関等を召集して角盤町エリアの将来像に向けた議論を行い、やよいデパートの管財人に報道機関より議論の結果を届けることができた。この件は後日、やよいデパートの土地・建物の取得者に繋がり、最終的に建物は解体され駐車場が設置された。

また、この時の上記協議体が基礎となり、商店街振興組合、商業者、行政や関係団体等で組織される「角盤町中心市街地にぎわい創出プロジェクト」が発足し、同プロジェクト発案によるソフト事業を中心に行うことで、かつての角盤町周辺エリアの賑わいを取り戻しつつ、周辺エリアの賑わい創出にも寄与できたものと思われる。

また、もう1つの核である「米子駅周辺エリア」については、米子駅南北自由通路等整備事業及び駅南広場整備事業等の完成が令和4年度、供用開始が令和5年度に予定されている。UR都市再生機構西日本支社及びJTB総合研究所にも協力を頂きながら、山陰で一番の交通結節点機能を有する都市である米子市の優位性を活かすため、当協議会メンバーや行政等による官民連携の「まちづくりワーキング会議」を実施してきた。

同会議では「20年後の姿の実現に向けた行動指針」の方向性を検討し、山陰観光・ビジネス宿泊拠点としての「稼ぐ宿泊都市」、車が主役の都市計画から人が主役のまちづくり「ウォークシフト（ウォーカブル）」等を示し、活性化への端緒を開いた。米子駅周辺エリアの賑わい創出はこれからの段階となるが、今後これらの方向性を活かしながら、米子市が進める「住んで楽しいまちづくり」の政策の一助となればと考える。

## 5. 市民意識の変化

### 【活性化状況】

- ① 活性化した
- ② 若干活性化した
- ③ 計画策定時と変化なし
- ④ 計画策定時より悪化

### 【詳細を記載】

米子市中心市街地に関するアンケート

調査日：令和2年10月16日～10月31日

調査方法：市民3,000人を無作為抽出しアンケートを郵送

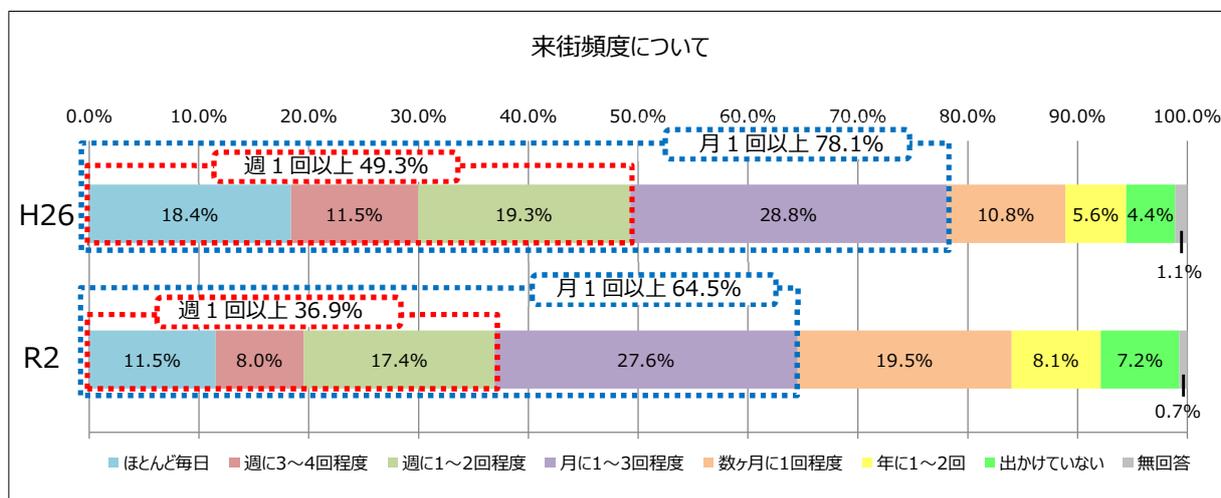
有効サンプル数：1,243人

平成25年度及び平成26年度に実施した市民アンケートの結果

平成25年度：平成25年8月1日～16日実施、対象数3,400人、有効サンプル数：1,228人  
平成26年度：平成27年2月13日～23日実施、対象数3,000人、有効サンプル数：1,169人

〈「この1年間で中心市街地に出かけた頻度について」という設問について〉

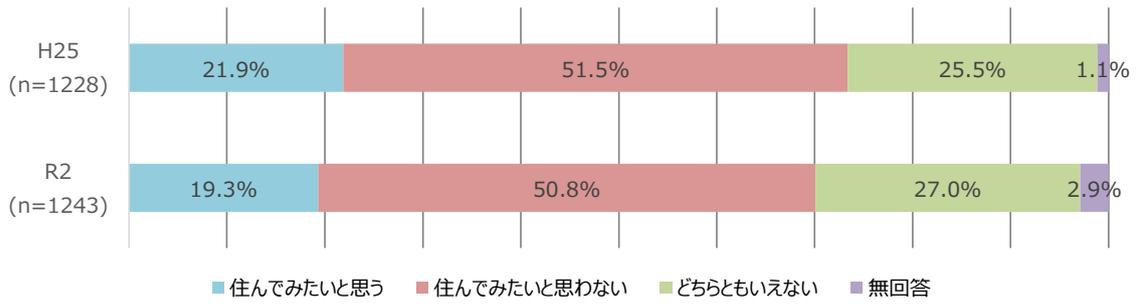
中心市街地への来街頻度はマイナス傾向にあるが、依然として週1回以上出かける割合は約37%、月1回以上出かける割合は約65%を占めている。



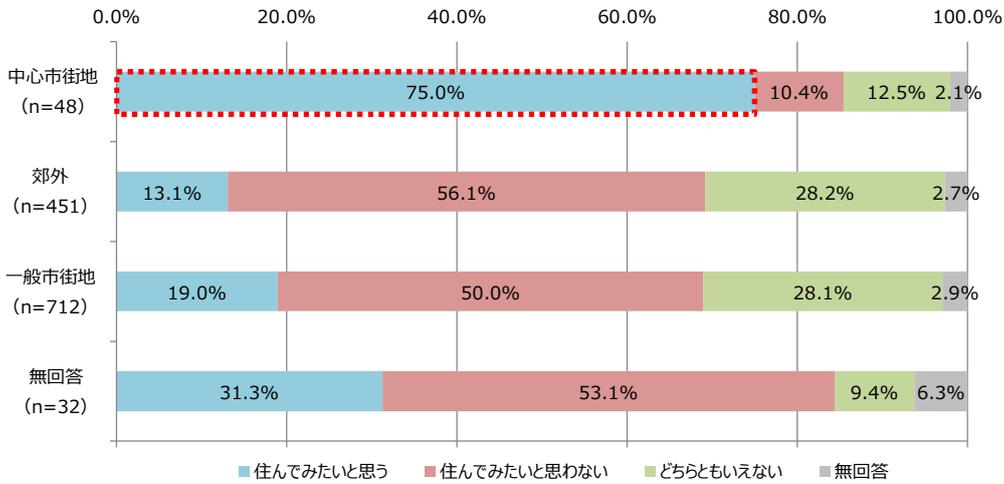
〈「中心市街地に住んでみたいか」という設問について〉

居住意向については前回アンケート時とほぼ変わらない結果となった。しかしながら、居住エリア別にみると、中心市街地に住んでいる回答者の75%が中心市街地に住み続けたいと回答しており、住んでいる人は住みやすく、過ごしやすいエリアだと感じていることがわかる。

### 中心市街地への居住意向について



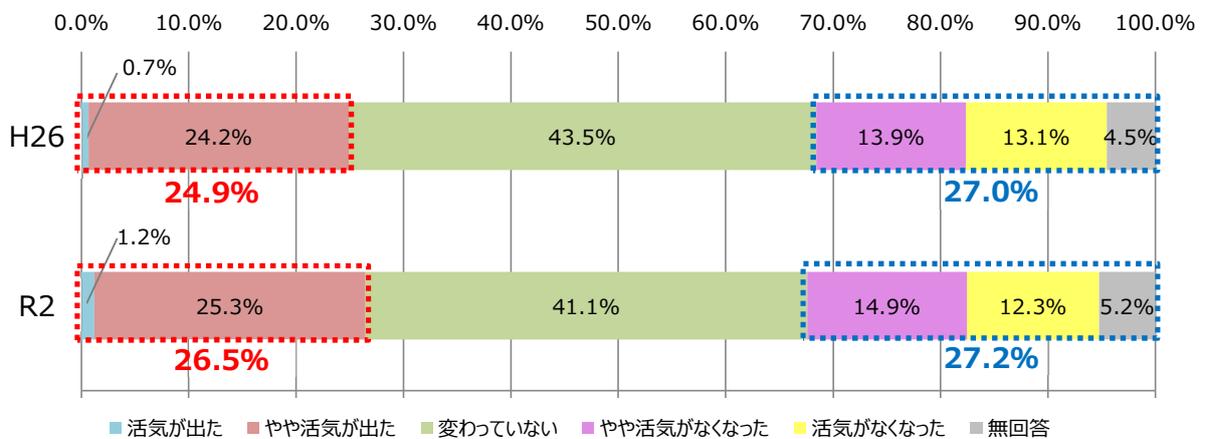
### 居住エリア×居住意向 (R2)



〈「この5年間でどのように中心市街地が変化したか」という設問について〉

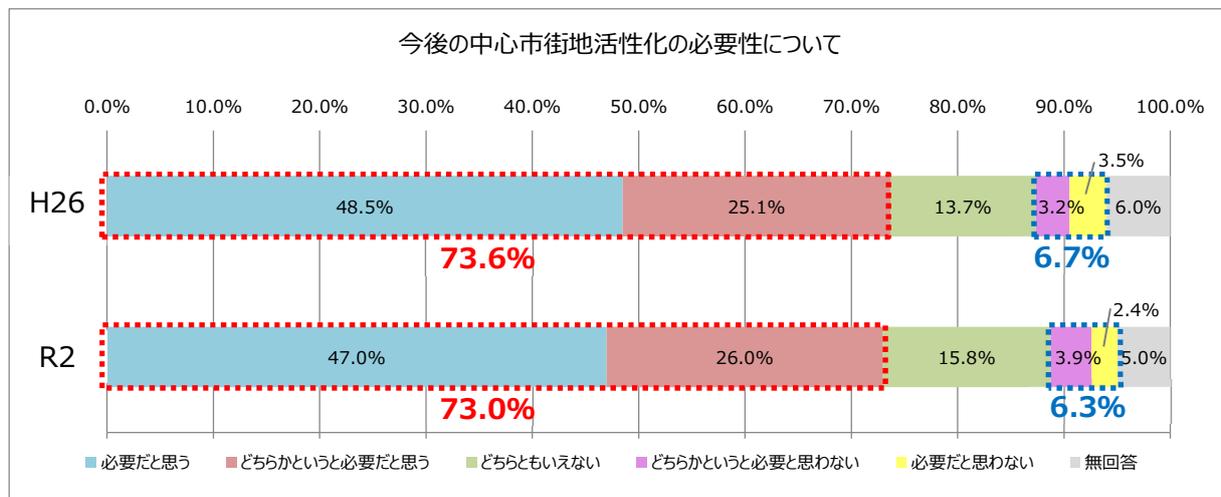
この5年間の中心市街地の変化については、活気に繋がったと感じている割合は約25%であった。

### この5年間の中心市街地の変化について



〈「今後も中心市街地の活性化の取組は必要か」という設問について〉

今後も中心市街地活性化の取組が必要だと考えている割合は70%以上であり、今後も継続した中心市街地活性化の取組が望まれている。



## 6. 今後の取組

2期計画では角盤町周辺エリア、米子駅周辺エリアを核とした2核1モールを中心に活性化を図ってきた。市民アンケートからも、活気に繋がったと答えた人が計画策定前より若干ではあるが増加している。また、7割強の人が中心市街地の活性化は必要と感じているように、取組を継続していく必要がある。

今後は、現在までの官民の取組を活かすとともに、中心市街地のエリアを広く捉え、本格的な事業展開を迎える米子駅南北自由通路等整備事業、米子城跡整備事業、中海・錦海かわまちづくり計画等と有機的な結びつきを形成し、相乗効果を図っていく必要がある。また、これを契機に米子駅周辺をはじめとする中心市街地を車中心から歩行者中心の魅力ある場へと再生し、多くの市民や来街者が集い、交流し、住まい、回遊する都市の顔として再構築を図っていく。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	基準値から目標値までの幅の8割ライン	最新値		達成状況
					(数値)	(年月)	
人が集いにぎわうまち	歩行者等通行量 (自転車含む)	12,945人 (H26)	13,200人 (R2)	13,149人	8,768人	R2.11	C
	駐車場の利用台数 (時間貸しのみ)	1,498,308台 (H26)	1,515,000台 (R2)	1,511,661台	1,020,018台	R3.3	C
歴史や文化、自然に触れ合えるまち	文化施設の利用者数	1,138,317人 (H25)	1,140,000人 (R2)	1,139,663人	1,019,881人	R2.9	C
	下町観光ガイドの利用者数	956人 (H26)	1,380人 (R2)	1,295人	1,343人	R3.3	B1
住みたくなるまち	人口の社会増減	H22～27年の平均 -5人 (3月末時点)	H28～R3年の平均をプラスに (3月末時点)	H28～R2年の平均 -1人 (3月末時点)	-19人	R3.3	C

〈達成状況の分類〉

A: 目標達成、B1: 概ね目標値達成（基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている）、B2: 基準値より改善（基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない）、C: 基準値に及ばない

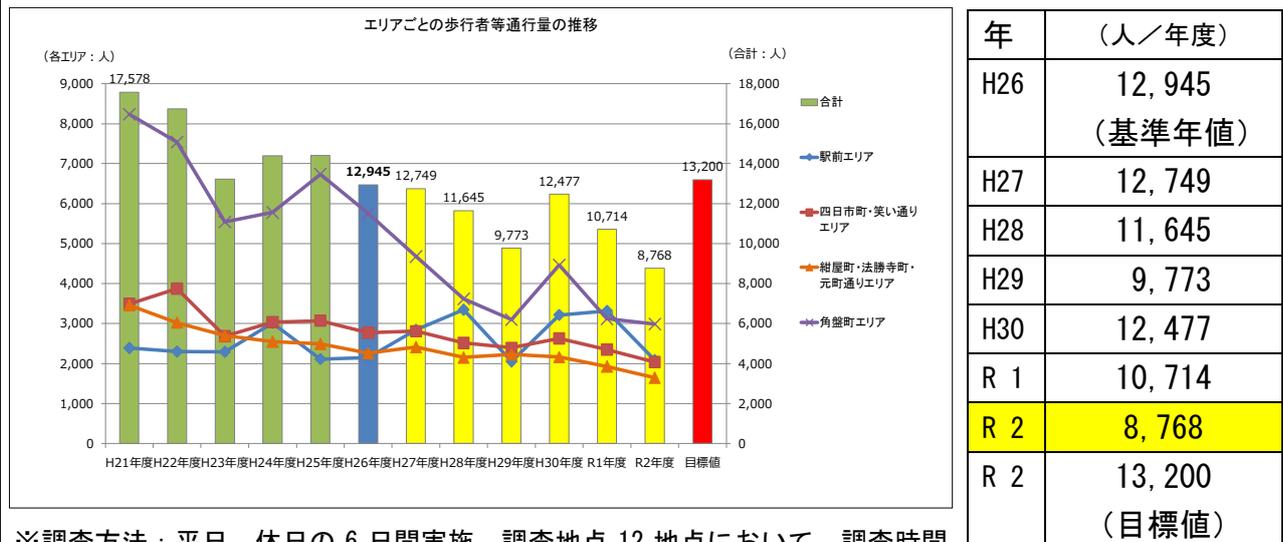
※上記について、関連する事業等が予定どおり進捗・完了しなかった場合は、小文字にしてください。（注：小文字のa、b1、b2、cは下線を引いてください）

### 2. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「歩行者等通行量（自転車を含む）」（目標の達成状況【C】）

※目標設定の考え方認定基本計画 P58～P65 参照

#### ●調査結果と分析



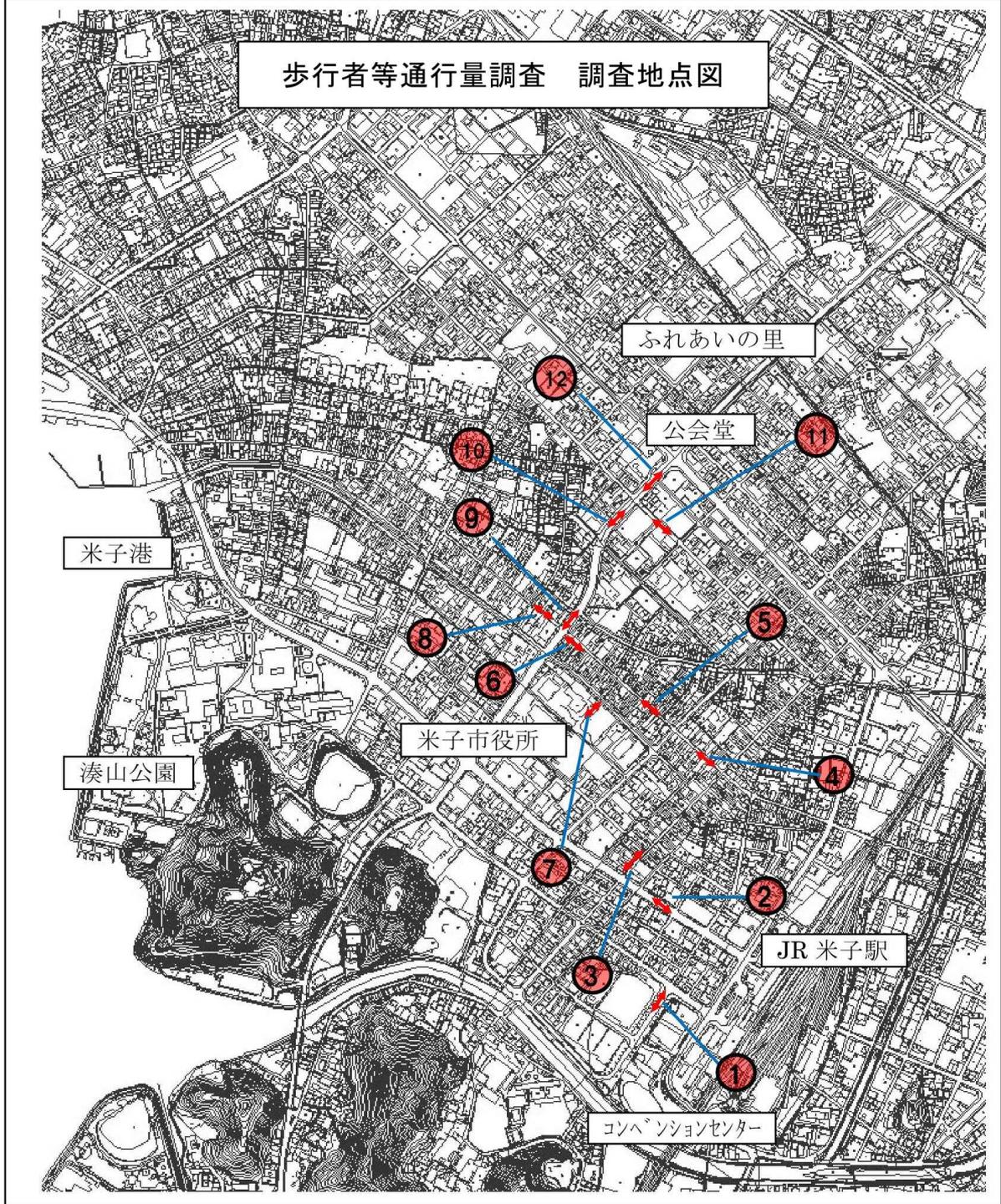
※調査方法：平日、休日の6日間実施。調査地点12地点において、調査時間を10時～17時までとし、毎時30分間計測。平日平均値、休日平均値を合計した。

※調査月：令和2年10月・11月

※調査主体：米子市

※調査対象：自転車を含む中学生以上の歩行者

歩行者等通行量調査 調査地点図



番号	地点名	番号	地点名
1	イオン米子駅前店前	7	憩の道 (健クリニック横)
2	加藤ビル前	8	米子信用金庫本町支店前
3	元町通商店街事務所前	9	& Aビル前 (旧山陰信販)
4	ちゃれんじ本舗前	10	角盤町郵便局前
5	本通り休憩所前	11	ニュー落合前
6	SKYビル前 (旧今井書店)	12	公会堂前 (事務所側)

(単位:人)

エリア名	番号	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度
		(計画前年度)	(1 年目)	(2 年目)	(3 年目)	(4 年目)	(5 年目)	(6 年目)
駅前エリア	1	1,184	1,897	2,160	1,221	2,748	2,199	1,060
	2	966	949	1,190	831	468	1,115	1,030
	小計	2,150	2,846	3,350	2,051	3,216	3,314	2,090
紺屋町・法勝寺町・元町通りエリア	3	790	839	738	548	673	661	512
	4	756	765	709	600	765	618	553
	5	715	809	707	1,079	727	648	583
	小計	2,261	2,413	2,154	2,227	2,165	1,927	1,648
四日市町・笑い通りエリア	6	732	793	735	682	644	674	565
	7	634	626	444	465	505	480	376
	8	418	545	517	492	509	435	415
	9	990	947	823	754	973	762	684
	小計	2,774	2,810	2,519	2,393	2,631	2,351	2,040
角盤町エリア	10	1,547	1,273	1,093	1,220	1,272	1,161	1,092
	11	2,643	2,043	1,015	859	1,006	909	904
	12	1,570	1,364	1,514	1,022	2,086	1,052	994
	小計	5,760	4,680	3,622	3,101	4,465	3,122	2,990
合 計		12,945	12,749	11,645	9,773	12,477	10,714	8,768

### 〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり完了したが、歩行者等通行量の最新値（令和2年10月・11月調査）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、基準年値と比較して約32%（4,177人）の減少、前年と比較しても約18%（1,946人）減少する結果となった。しかしながら、令和元年度以前は、角盤町エリアについては、「やよいデパート」の撤退以降大きく減少していたが、「ひまわり駐車場」の一部を活用したソフト事業や、「える・もーる駐車場再開発事業」、「旧米子高島屋東館再開発事業」など、まちの新たな動きにより活性化の兆しが見られ、通行量は下げ止まりとなった。米子駅前エリアにおいては、民間の投資活動が盛んになってきており、良好な結果となっている。

### ●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

#### ①. にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業実施期間	平成 17 年度～ 【実施中】
事業概要	空き店舗に出店する事業者到店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 27 年度～令和 2 年度）

事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】20店舗／5年  【最新値】16店舗／5年 <u>目標未達成</u>  (基準値から事業目標値までの幅の8割ライン 16店舗／5年は超えている。)</p> <p>・達成状況</p>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>エリア名</th> <th>見込み (H27～R2年度)</th> <th>実績 (H27～R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法勝寺町・元町周辺</td> <td>5店舗</td> <td>5店舗</td> </tr> <tr> <td>四日市町周辺</td> <td>8店舗</td> <td>4店舗</td> </tr> <tr> <td>角盤町周辺</td> <td>3店舗</td> <td>4店舗</td> </tr> <tr> <td>その他地区</td> <td>4店舗</td> <td>3店舗</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20店舗</td> <td>16店舗</td> </tr> </tbody> </table>	エリア名	見込み (H27～R2年度)	実績 (H27～R2年度)	法勝寺町・元町周辺	5店舗	5店舗	四日市町周辺	8店舗	4店舗	角盤町周辺	3店舗	4店舗	その他地区	4店舗	3店舗	合計	20店舗	16店舗
	エリア名	見込み (H27～R2年度)	実績 (H27～R2年度)																
	法勝寺町・元町周辺	5店舗	5店舗																
	四日市町周辺	8店舗	4店舗																
角盤町周辺	3店舗	4店舗																	
その他地区	4店舗	3店舗																	
合計	20店舗	16店舗																	
達成した(出来なかった)理由	<p>当該事業は目標を達成することはできなかった。これは、出店件数が平成28年度は0件、平成29年度は2件だったことが大きく影響している。しかし、平成30年度に対象エリアや補助対象経費の拡大等の制度改革を行ったことにより、問合せ件数が大幅に増加し、平成30年度は4店舗、令和元年度は3店舗、令和2年度は4店舗の出店があった。</p>																		
計画終了後の状況及び事業効果	<p>当該事業としては完了することにより200人の歩行者等通行量を見込んでいる。計画期間中には目標値は達成できなかったが、制度改革以降、問合せ件数や出店件数が増加しており、今後も継続して出店が見込まれる。また、角盤町周辺に他事業の活用による新たな出店もあり、新たな賑わいの創出が期待される。</p>																		
事業の今後について	<p>引き続き空き店舗に出店する事業者を積極的に募集し、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。</p>																		
②. 新生米子市立図書館の運営(米子市)																			
事業実施期間	平成25年度～ <b>【実施中】</b>																		
事業概要	<p>図書館の貸出しのみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会の提供などを含めた図書館の運営</p>																		
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし																		
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】――  【最新値】来館者数については、平成25年8月のリニューアルオープンから堅調に推移しており、令和元年度の利用者数は計画策定後最多となっている。</p> <p>・利用者数の推移</p>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 (基準年値)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>286,500</td> <td>282,200</td> <td>275,500</td> <td>310,400</td> <td>315,100</td> <td>322,750</td> </tr> </tbody> </table>		H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1	利用者数	286,500	282,200	275,500	310,400	315,100	322,750				
		H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1												
利用者数	286,500	282,200	275,500	310,400	315,100	322,750													

達成した（出来なかった）理由	図書館の利用案内（パンフレット）、ホームページ、図書館だより（毎月1回発行）等に多目的スペースのPRやイベント案内を掲載し、特定のテーマに特化した展示コーナーを増やすなど利用促進に努め、多様なニーズに対応している。また公式SNS（Facebook、Twitter、Instagram）を開設し、イベント情報や研修室開放状況など即時性の高い情報を提供することで、幅広い年齢層の新たな図書館利用者の拡大に努めている。これにより、利用者の増加に繋がり、より多くの市民や多様なニーズに対応した図書館運営が展開できていると考える。
計画終了後の状況及び事業効果	各種施策を実施したことにより、利用者の拡大に繋がった。
事業の今後について	図書館来館者数は堅調に推移しており、引き続き利用者の拡大に努める。

③. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業実施期間	【未】 [認定基本計画：平成28年度～平成31年度]														
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。														
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし														
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】入館者数の増加 【最新値】12,509人増加 <u>目標達成</u> ・達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 (基準年値)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入場者数</td> <td>7,843</td> <td>8,722</td> <td>5,831</td> <td>13,762</td> <td>15,465</td> <td>20,352</td> </tr> </tbody> </table>		H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1	入場者数	7,843	8,722	5,831	13,762	15,465	20,352
	H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1									
入場者数	7,843	8,722	5,831	13,762	15,465	20,352									
達成した（出来なかった）理由	山陰歴史館の再整備については完了していないが、多彩なソフト事業を展開したことにより、利用者の拡大に繋がった。														
計画終了後の状況及び事業効果	多彩なソフト事業の展開を通して入館者数の増加に繋がった。														
事業の今後について	整備については、山陰歴史館がある市指定文化財建物の利活用に資するためのサウンディング調査を実施した。その結果も勘案しながら、今後の整備の方向性を検討していく。利用者の拡大については、企画展などを充実させるとともに、「米子城・魅せる！プロジェクト事業」等との連携を図り、山陰歴史館のさらなる利用拡大を図っていく。														

④. 米子駅南北自由通路等整備事業（米子市）

事業実施期間	平成26年度～令和4年度 【実施中】
事業概要	鉄道で分断されている米子駅の南北地区をバリアフリー化に配慮した自

	由通路で連絡し、歩行者等の安全性・利便性の向上や駅周辺の活性化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（国土交通省）（平成27年度） 防災・安全交付金（国土交通省）（平成28年度～令和2年度） 防災・安全交付金（国土交通省）（令和3年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】自由通路整備 【最新値】自由通路整備中 <u>目標未達成</u> ・達成状況 平成26年度 事前調査 平成27年度 予備設計及び補償予備調査 平成28年度 補償本調査及び都市計画決定、詳細設計（駅南広場） 支障移転補償（H28～R4年度） 平成30年度～令和元年度 詳細設計（自由通路） 令和2年度 工事着手 令和4年度 竣工（予定）
達成した（出来なかった）理由	当該事業については、当初の計画からバリアフリーに配慮した計画へと変更したことにより事業期間が2年延長されたことが原因である。
計画終了後の状況及び事業効果	現在、工事には着手しており、令和4年度完成を目指す。また、事業が完了した令和5年度には360人の通行量増加を見込んでおり、まちなかの賑わい創出につながる。
事業の今後について	事業期間の延長後はおおむね順調に進捗しており、引き続き、適切な事業管理に努める。

⑤. 民間共同住宅建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成27年度～ <b>【実施中】</b>														
事業概要	民間事業者による共同住宅の建設														
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし														
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】2棟／5年 【最新値】9棟／5年 <u>目標達成</u> ・達成状況 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>棟数</td> <td>3棟 (110戸)</td> <td>3棟 (48戸)</td> <td>1棟 (3戸)</td> <td>1棟 (18戸)</td> <td>0棟</td> <td>1棟 (55戸)</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	R2	棟数	3棟 (110戸)	3棟 (48戸)	1棟 (3戸)	1棟 (18戸)	0棟	1棟 (55戸)
	H27	H28	H29	H30	R1	R2									
棟数	3棟 (110戸)	3棟 (48戸)	1棟 (3戸)	1棟 (18戸)	0棟	1棟 (55戸)									
達成した（出来なかった）理由	中心市街地の魅力等を情報発信したことが目標達成の要因と考えられる。														
計画終了後の状況及び事業効果	目標を超える9棟の共同住宅が建設され、まちなか居住に繋がったと考えられる。														

事業の今後について	引き続き、中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間事業者による開発の後押しをしていく。また、立地適正化計画による居住誘導区域の設定や優良建築物等整備事業の実施等により効果的なまちづくりを進める。
-----------	---

⑥. 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業（(株)米子高島屋）

事業実施期間	【未】 [認定基本計画：平成28年度～]
事業概要	米子高島屋東館の空床スペースを改装し、子どもの遊びを通じた知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育て中の人のニーズが満たせる子育てカフェ（ママカフェ）の設置、育児グッズや育児玩具を集積した売場の新設、地元のケーブルテレビ局と連携したスタジオの開設など整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業のうち先導的・実証的事業 (経済産業省) (平成28年度)
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】施設整備 【最新値】施設未整備 <u>目標未達成</u>
達成した（出来なかった）理由	平成28年度実施に向け申請していたが不採択となり、内容をブラッシュアップして事業実施に向け取り組むこととしていたところ、令和元年度に事業計画場所であった旧米子高島屋東館に体験型複合施設が整備されたためである。
計画終了後の状況及び事業効果	目標達成には至らなかったが、令和元年度に事業計画場所であった旧米子高島屋東館が体験型複合施設である「GOOD BLESS GARDEN」として整備され、まちなかの賑わい増進に寄与している。
事業の今後について	事業内容の見直しが進み、「GOOD BLESS GARDEN」が整備されたが、今後も周辺で実施されるソフト事業と連携・連動し、エリア全体で相乗効果を発揮できるよう「角盤町中心市街地にぎわい創出プロジェクト」で検討を重ねる。

⑦. 商都米子再興戦略・商業施設整備事業（(株)リサ・クリエイティブプロダクツ）

事業実施期間	【未】 [認定基本計画：平成28年度～]
事業概要	子ども連れでも気軽に飲食等ができ、米子高島屋が整備を予定しているキッズサポート施設との相乗効果が期待できる商業施設の整備。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業のうち先導的・実証的事業 (経済産業省) (平成28年度～)
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】施設整備 【最新値】施設未整備 <u>目標未達成</u>

達成した（出来なかった）理由	米子高島屋の「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」の相乗効果を狙った第2次事業として位置付けていたが、同施設整備事業が国の補助金採択に至らず実施できていないため、本事業も実施には至っていない。
計画終了後の状況及び事業効果	上記理由により事業実施に至っていないため、事業効果の検証できていない。また、計画エリアには多数の地権者がおり、すべての地権者のコンセンサスが未だ得られていないため、今後の実施についても未定である。
事業の今後について	現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」におけるエリア活性化策の検討を終え、当該事業も事業内容の見直しに向かって個別の検討が進んでいる。

⑧. よなごまちなかコミュニティ活性化支援事業（米子市）

事業実施期間	平成27年度～ 【実施中】														
事業概要	地域活性化に資する生活支援サービスやコミュニティ拠点施設・ゲストハウスの運営、コミュニティビジネスの起業等の取組に要する経費を支援する。														
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし														
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】5棟／5年  【最新値】2棟／5年 <u>目標未達成</u>  ・達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>棟数</td> <td>1棟</td> <td>0棟</td> <td>1棟</td> <td>0棟</td> <td>0棟</td> <td>0棟</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R1	R2	棟数	1棟	0棟	1棟	0棟	0棟	0棟
	H27	H28	H29	H30	R1	R2									
棟数	1棟	0棟	1棟	0棟	0棟	0棟									
達成した（出来なかった）理由	平成27年度、平成29年度にそれぞれ1軒のコミュニティスペース・ゲストハウスがオープンし、新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、順調に運営されてきた。しかし、平成30年度以降については、相談はあるもののマッチングに至らず、当該事業としての進捗はなかった。														
計画終了後の状況及び事業効果	当該事業が完了することにより50人の通行量増加を見込んでいる。目標達成には至らなかったが、整備した施設を活用した福祉系のオレンジカフェ運営など、中心市街地のコミュニティの活性化に大いに寄与している。														
事業の今後について	今後も継続して積極的な情報発信・事業プレイヤーの掘り起こしを行い、まちなかの賑わい創出に繋げる。														

⑨. ひまわり駐車場整備事業（(株)アバロン）【平成29年度追加】

事業実施期間	平成29年度 【済】
事業概要	電気自動車充電設備を備えた、広い駐車スペースの平面駐車場の整備と、植栽による良好な景観形成を推進する事業

	駐車台数 160台 電気自動車充電設備 6基(12台分) 植栽 総延長=230.7m
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】 駐車場整備 【最新値】 駐車場整備済 <u>目標達成</u> ・達成状況 平成29年度 整備済
達成した（出来なかった）理由	民間事業者との協議により当初の計画どおりに進捗し、平成29年度に大型スーパー跡地に広い駐車場を整備することができた。
計画終了後の状況及び事業効果	整備は平成29年度に完了し、現在は、駐車場としての活用だけでなく、角盤町エリアで実施しているイベント企画の会場にも活用されている。
事業の今後について	駐車スペースが広く環境に配慮された平面駐車場が整備されたことで、今後も積極的な活用が見込まれており、中心市街地の商業施設、文化施設等を訪れる人の利便性の向上を図り、まちなかの賑わい創出につなげる。

⑩. 道笑町2丁目ゲストハウス整備事業（山陰ステキ不動産）【平成29年度追加】

事業実施期間	平成29年度 【済】
事業概要	奥行き長い町家形式の空き家を活用し、ゲストハウス及びシェアオフィスを複合的に整備する事業
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】 ゲストハウス整備 【最新値】 ゲストハウス整備済 <u>目標達成</u> ・達成状況 平成29年度 整備済
達成した（出来なかった）理由	民間事業者の主導により当初の計画どおりに進捗し、平成29年度に整備が完了した。
計画終了後の状況及び事業効果	空き家の活用によりゲストハウス兼コミュニティスペースを整備することで、地域コミュニティ活性化に寄与するとともに、インバウンド等来街者の多様なニーズに応え、賑わいや交流の創出を図っている。 昨今は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりインバウンド等来街者の増加は厳しい状況ではあるものの、それ以前については、一定の効果が見られた。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染拡大による影響が改善されれば、インバウンド等来街者の増加や新たな交流の拠点としての機能が期待されている。

⑪. 旧高島屋東館再開発事業【令和元年度追加】

事業実施期間	令和元年度 【済】
事業概要	温浴施設、宿泊施設などを完備した体験型複合施設に整備することで、時代に沿った形の複合施設としてリ・デザインし、角盤町エリアのにぎわいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】体験型複合施設整備 【最新値】体験型複合施設整備済 <u>目標達成</u> ・達成状況 令和元年度 整備済
達成した（出来なかった）理由	民間事業者の主導により当該事業は当初の計画どおりに進捗し、令和元年度に整備が完了した。
計画終了後の状況及び事業効果	体験型複合施設である「GOOD BLESS GARDEN」が令和元年度に整備され、米子市中心市街地活性化の核である角盤町における新たな拠点として、賑わい創出に大きく貢献している。
事業の今後について	今後も周辺で実施されるソフト事業と連携・連動しエリア全体で相乗効果を発揮できるよう「角盤町中心市街地にぎわい創出プロジェクト」で検討を重ねる。

## ●今後の対策

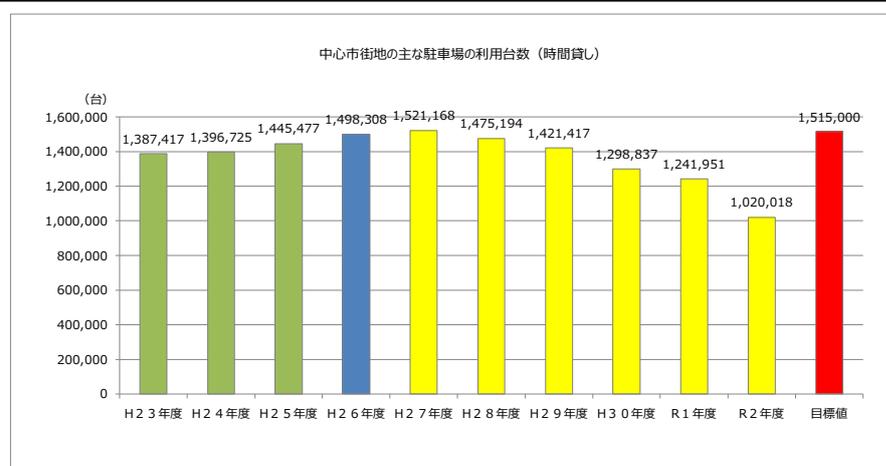
主要事業は概ね順調に進捗していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、目標は達成できなかった。しかしながら、核の1つである角盤町周辺エリアにおいては、「える・もーる駐車場再開発事業」、「旧米子高島屋東館再開発事業」など民間主導の事業により、新たな賑わい創出の拠点が整備され、「ひまわり駐車場」の一部を活用したソフト事業とともに今後の活性化が期待される。もう1つの核である米子駅周辺エリアにおいても、民間の投資活動が盛んになってきており、令和2年6月にホテルがオープンした。現在も新たなホテルの建設が進んでいることから、より一層の賑わい創出が期待できる。しかしながら、これらの賑わいの拠点間の回遊性は十分なものとは言えず、今後本格的な事業展開を迎える「米子駅南北自由通路等整備事業」等と併せて回遊性の向上、相乗効果を図っていく必要がある。

今後はこのような、民間投資の賑わい創出効果を中心市街地全体に最大限波及させるとともに、現在までの取組から浮き彫りとなった課題、活かすべき点を踏まえた発展的な施策として、ウォーカブル推進事業等を実施し、中心市街地の活性化に繋げていくことで、歩行者等通行量の増加を目指す。

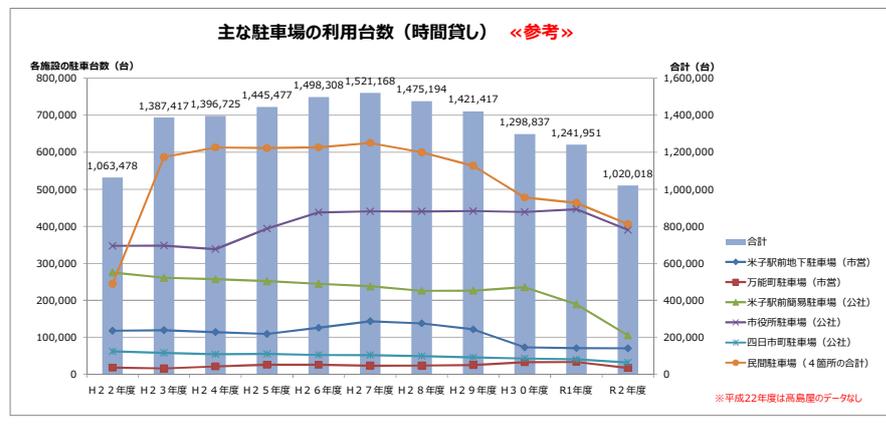
(2) 「駐車場の利用台数（時間貸しのみ）」（目標の達成状況【C】）

※目標設定の考え方認定基本計画 P65～P69 参照

●調査結果と分析



年	(台／年度)
H26	1,498,308 (基準年値)
H27	1,521,168
H28	1,475,194
H29	1,421,417
H30	1,298,837
R1	1,241,951
R2	1,020,018
R2	1,515,000 (目標値)



※調査方法：公営・民間合わせて9箇所を設定し、各施設の所有者からの報告により把握

※調査月：令和3年4月（前年度4月～3月の合計）

※調査主体：米子市

※調査対象：米子駅前地下駐車場（市営）、万能町駐車場（市営）、米子駅前簡易駐車場（公社）

市役所駐車場（公社）、四日市町駐車場（公社）、民間駐車場（4箇所）の計9箇所の時間貸しのみ

〈分析内容〉

駐車場の利用台数の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり完了したが、利用台数は基準年値と比較して約32%（478,290台）の減少、前年と比較すると約18%（221,933台）減少する結果となった。これは、「やよいデパート」跡地に設置された「ひまわり駐車場」（調査対象外）への利用者が分散したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出が自粛されたこと、万能町駐車場においては提携していたホテルの利用者が大幅に減少したことが、駐車場利用台数減少の要因と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備事業（米子市）

事業実施期間	【未】 [認定基本計画：平成28年度～平成31年度]						
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」に基づき、老朽化している山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。						
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし						
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】入館者数の増加 【最新値】12,509人増加 <u>目標達成</u> ・達成状況						
		H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1
	入場者数	7,843	8,722	5,831	13,762	15,465	20,352
達成した（出来なかった）理由	山陰歴史館の再整備については完了していないが、多彩なソフト事業を展開したことにより、利用者の拡大に繋がった。						
計画終了後の状況及び事業効果	整備が完了することにより、724台／年の利用台数の増加を見込んでいる。多彩なソフト事業の展開を通して入館者数の増加に繋がった。						
事業の今後について	整備については、山陰歴史館がある市指定文化財建物の利活用に資するためのサウンディング調査を実施した。その結果も勘案しながら、今後の整備の方向性を検討していく。利用者の拡大については、企画展などを充実させるとともに、「米子城・魅せる！プロジェクト事業」等との連携を図り、山陰歴史館のさらなる利用拡大を図っていく。						

②. 商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業（(株)米子高島屋）

事業実施期間	【未】 [認定基本計画：平成28年度～]						
事業概要	米子高島屋東館の空床スペースを改装し、子どもの遊びを通じた知育・体育プログラムを提供する施設の整備、子育て中の人のニーズが満たせる子育てカフェ（ママカフェ）の設置、育児グッズや育児玩具を集積した売場の新設、地元のケーブルテレビ局と連携したスタジオの開設など整備を行う。						
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業のうち先導的・実証的事業 (経済産業省) (平成28年度)						
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】施設整備 【最新値】施設未整備 <u>目標未達成</u>						
達成した（出来なかった）理由	平成28年度実施に向け申請していたが不採択となり、内容をブラッシュアップして事業実施に向け取り組むこととしていたところ、令和元年						

	度に事業計画場所であった旧米子高島屋東館に体験型複合施設が整備されたためである。
計画終了後の状況及び事業効果	目標達成には至らなかったが、令和元年度に事業計画場所であった旧米子高島屋東館が体験型複合施設である「GOOD BLESS GARDEN」として整備され、まちなかの賑わい増進に寄与している。
事業の今後について	事業内容の見直しが進み、「GOOD BLESS GARDEN」が整備されたが、今後も周辺で実施されるソフト事業と連携・連動し、エリア全体で相乗効果を発揮できるよう「角盤町中心市街地にぎわい創出プロジェクト」で検討を重ねる。

③. にぎわいのある商店街づくり事業（米子市）

事業実施期間	平成17年度～ 【実施中】		
事業概要	空き店舗に出店する事業者到店舗改修費等の助成を行い、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。		
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成27年度～令和2年度）		
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】20店舗／5年 【最新値】16店舗／5年 <u>目標未達成</u> （基準値から事業目標値までの幅の8割ライン 16店舗／5年は超えている。） ・達成状況		
	エリア名	見込み (H27～R2年度)	
	実績 (H27～R2年度)		
	法勝寺町・元町周辺	5店舗	5店舗
	四日市町周辺	8店舗	4店舗
	角盤町周辺	3店舗	4店舗
その他地区	4店舗	3店舗	
合計	20店舗	16店舗	
達成した（出来なかった）理由	当該事業は目標を達成することはできなかった。これは、出店件数が平成28年度は0件、平成29年度は2件だったことが大きく影響している。しかし、平成30年度に対象エリアや補助対象経費の拡大等の制度改革を行ったことにより、問合せ件数が大幅に増加し、平成30年度は4店舗、令和元年度は3店舗、令和2年度は4店舗の出店があった。		
計画終了後の状況及び事業効果	当該事業としては完了することにより200人の歩行者等通行量を見込んでいる。計画期間中には目標値は達成できなかったが、制度改革以降、問合せ件数や出店件数が増加しており、今後も継続して出店が見込まれる。また、角盤町周辺に他事業の活用による新たな出店もあり、新たな賑わいの創出が期待される。		

事業の今後について	引き続き空き店舗の出店する事業者を積極的に募集し、商店街の魅力や集客力を高めるとともに、空き店舗の解消を図る。
-----------	---

④. 商都米子再興戦略・商業施設整備事業（(株)リサ・クリエイティブプロダクツ）

事業実施期間	【未】 [認定基本計画：平成28年度～]
事業概要	子ども連れでも気軽に飲食等ができ、米子高島屋が整備を予定しているキッズサポート施設との相乗効果が期待できる商業施設の整備。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業のうち先導的・実証的事业 (経済産業省) (平成28年度～)
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】施設整備 【最新値】施設未整備 目標未達成
達成した（出来なかった）理由	米子高島屋の「商都米子再興戦略・キッズサポート施設整備事業」の相乗効果を狙った第2次事業として位置付けていたが、同施設整備事業が国の補助金採択に至らず実施できていないため、本事業も実施には至っていない。
計画終了後の状況及び事業効果	上記理由により事業実施に至っていないため、事業効果の検証できず。また、計画エリアには多数の地権者がおり、すべての地権者のコンセンサスが未だ得られていないため、今後の実施についても未定である。
事業の今後について	現在は、「角盤町エリア活性化プロジェクト会議」におけるエリア活性化策の検討を終え、当該事業も事業内容の見直しに向かって個別の検討が進んでいる。

⑤. 公会堂利用促進事業（米子市）

事業実施期間	平成26年度～ 【実施中】														
事業概要	ホールはもとより、ホワイエは市民ギャラリーやミニコンサート等、広場は憩いの場やフリーマーケット等、多目的なイベント利用への働きかけをし、来街者を増やす。														
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし														
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】来街者を増やす 【最新値】入場者数が19,130人増加した。 ・達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 (基準年値)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入場者数</td> <td>107,613</td> <td>129,579</td> <td>128,625</td> <td>145,207</td> <td>150,701</td> <td>126,743</td> </tr> </tbody> </table>		H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1	入場者数	107,613	129,579	128,625	145,207	150,701	126,743
	H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1									
入場者数	107,613	129,579	128,625	145,207	150,701	126,743									

達成した（出来なかった）理由	平成26年3月のリニューアルオープン後、ホール利用に留まらず、ライブや夏まつり、イルミネーション点灯式などの様々なイベントが行われ、来街者数増に繋がった。
計画終了後の状況及び事業効果	前庭は全面に芝生が張られて開放的な空間となり、令和元年度においても、盆踊大会会場などとして活用されている。さらには、米子商工会議所が実施する「米子グランマルシェ」など各種イベントの開催など、申請のある利用のみならず、市民の憩いの場としての効果も現れている。 令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者数が減少したが、それ以前については、一定の効果が見られた。
事業の今後について	「角盤町中心市街地にぎわい創出プロジェクト」において、同エリアにおける官民の連携が積極的に図られており、公会堂利用促進は今後も進んでいくものと見込まれている。

#### ⑥. 旧高島屋東館再開発事業【令和元年度追加】

事業実施期間	令和元年度 【済】
事業概要	温浴施設、宿泊施設などを完備した体験型複合施設に整備することで、時代に沿った形の複合施設としてリ・デザインし、角盤町エリアのにぎわいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】体験型複合施設整備 【最新値】体験型複合施設整備済 <u>目標達成</u> ・達成状況 令和元年度 整備済
達成した（出来なかった）理由	民間事業者の主導により当該事業は当初の計画どおりに進捗し、令和元年度に整備が完了した。
計画終了後の状況及び事業効果	体験型複合施設である「GOOD BLESS GARDEN」が令和元年度に整備され、米子市中心市街地活性化の核である角盤町における新たな拠点として、賑わい創出に大きく貢献している。
事業の今後について	今後も周辺で実施されるソフト事業と連携・連動しエリア全体で相乗効果を発揮できるよう「角盤町中心市街地にぎわい創出プロジェクト」で検討を重ねる。

#### ●今後の対策

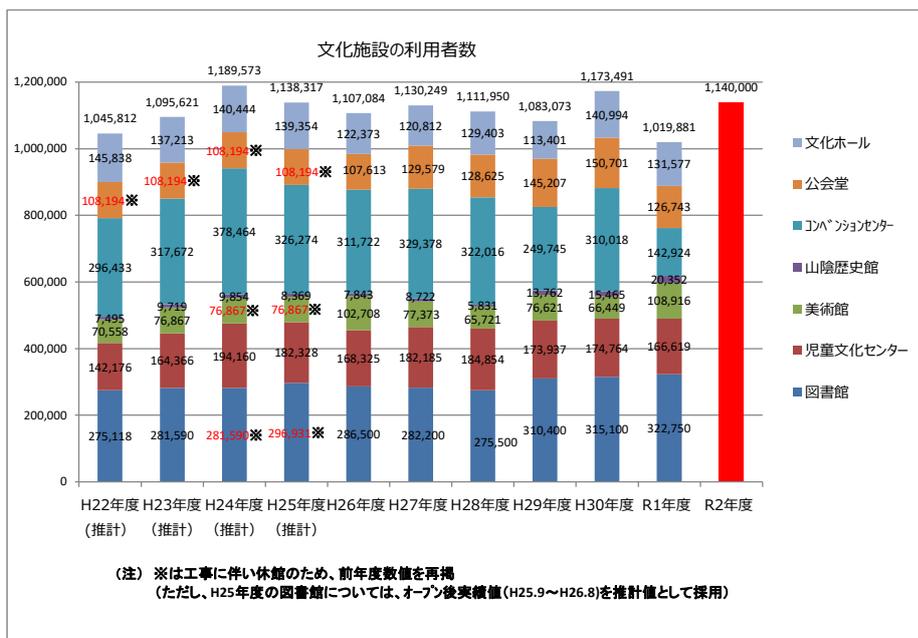
主要事業は概ね順調に進捗していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、目標は達成できなかった。しかしながら角盤町周辺エリアでは、平成30年度に官民一体となり組織された「角盤町中心市街地にぎわい創出プロジェクト」が中心となったソフト事業の継続した展開や、「える・もーる駐車場再開発事業」、「旧米子高島屋東館再開発事業」など民間主導の事業により、活性化の兆しがみられている。また、米子駅周辺エリアにおいても、近年の飲食店の出店や、相次ぐホテルの進出など継続的な民間の投資がみられており、駐車場利用台数の

増加も見込まれている。今後は、このような活性化の兆しと拠点を有機的に結び付けることにより、エリア全体の価値を高め、より一層の来街者増加を図っていくことで、駐車場の利用台数の増加を目指す。

(3) 「文化施設の利用者数について」(目標の達成状況【C】)

※目標設定の考え方認定基本計画 P70～P73 参照

●調査結果と分析



年	(人/年度)
H25	1,138,317 (基準年値)
H26	1,107,084
H27	1,130,249
H28	1,111,950
H29	1,083,073
H30	1,173,491
R 1	1,019,881
R 2	1,140,000 (目標値)

※調査方法：事務報告等

※調査月：令和2年9月(前年度4月～3月の合計)

※調査主体：米子市

※調査対象：文化ホール、公会堂、コンベンションセンター、山陰歴史館、美術館、児童文化センター  
図書館の計7箇所の文化施設

<分析内容>

文化施設の利用者数の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり完了した。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設において相当数のキャンセルが出たが、それ以前の文化施設の利用者数については好調に推移していることから、文化施設利用者の底上げができていていると考える。

なお、平成26年度の数値は認定前の調査による。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 山陰歴史館整備事業(米子市)

事業実施期間	【未】 [認定基本計画：平成28年度～平成31年度]
事業概要	「伯耆の国よなご文化創造計画(後期計画)」に基づき、老朽化している

	山陰歴史館を整備することにより、来館者や利用者の拡大を図る。														
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし														
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】企画展又は特別展等の開催数を1回程度増やす  【最新値】3回増加 <u>目標達成</u>  ・達成状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26 (基準年値)</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>開催数</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> </table>		H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1	開催数	6	6	6	6	8	9
	H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1									
開催数	6	6	6	6	8	9									
達成した（出来なかった）理由	山陰歴史館の再整備については完了していないが、企画展等の開催数を増やしたことにより、入館者数が12,509人増加した。														
計画終了後の状況及び事業効果	整備の完了により1,987人／年の利用者の増加を見込んでいる。多彩なソフト事業の展開を通して入館者数の増加に繋がった。														
事業の今後について	整備については、山陰歴史館がある市指定文化財建物の利活用に資するためのサウンディング調査を実施した。その結果も勘案しながら、今後の整備の方向性を検討していく。利用者の拡大については、企画展などを充実させるとともに、「米子城・魅せる！プロジェクト事業」等との連携を図り、山陰歴史館のさらなる利用拡大を図っていく。														

②. 新生米子市立図書館の運営（米子市）

事業実施期間	平成25年度～ 【実施中】														
事業概要	図書館の貸出しのみならず、ビジネス支援、多目的スペースを活用した市民の生涯学習の発表の機会の提供などを含めた図書館の運営														
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし														
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】――  【最新値】来館者数については、平成25年8月のリニューアルオープンから堅調に推移しており、令和1年度の利用者数は計画策定後最多となっている。  ・利用者数の推移</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26 (基準年値)</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>286,500</td> <td>282,200</td> <td>275,500</td> <td>310,400</td> <td>315,100</td> <td>322,750</td> </tr> </table>		H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1	利用者数	286,500	282,200	275,500	310,400	315,100	322,750
	H26 (基準年値)	H27	H28	H29	H30	R1									
利用者数	286,500	282,200	275,500	310,400	315,100	322,750									
達成した（出来なかった）理由	図書館の利用案内（パンフレット）、ホームページ、図書館だより（毎月1回発行）等に多目的スペースのPRやイベント案内を掲載し、特定のテーマに特化した展示コーナーを増やすなど利用促進に努め、多様なニーズに対応している。また公式SNS（Facebook、Twitter、Instagram）を開設し、イベント情報や研修室開放状況など即時性の高い情報を提供することで、幅広い年齢層の新たな図書館利用者の拡大に努めている。これ														

	により、利用者の増加に繋がり、より多くの市民や多様なニーズに対応した図書館運営が展開できていると考える。
計画終了後の状況及び事業効果	各種施策を実施したことにより、利用者の拡大に繋がった。
事業の今後について	図書館来館者数は堅調に推移しており、引き続き利用者の拡大に努める。

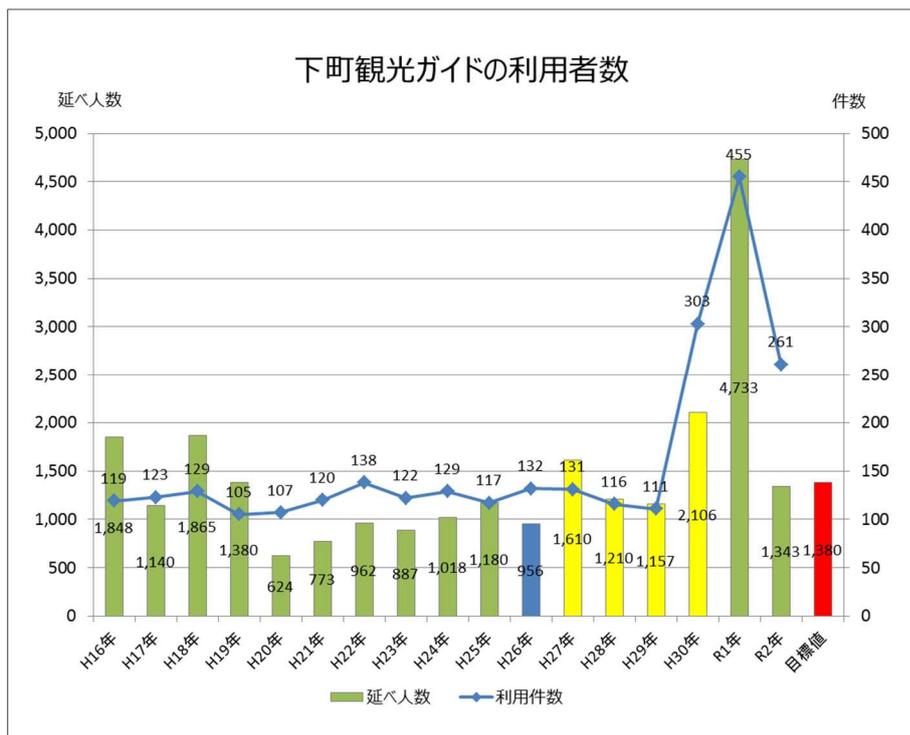
●今後の対策

文化施設の利用者数については、好調に推移していることから、今後予定されている「山陰歴史館整備事業」の実施や、SNSを駆使した魅力の情報発信により、継続的な利用者数の増加を目指す。

(4)「下町観光ガイドの利用者数について」(目標の達成状況【B1】)

※目標設定の考え方認定基本計画 P73～P75 参照

●調査結果と分析



年	(人/年)
H26	956 (基準年値)
H27	1,610
H28	1,210
H29	1,157
H30	2,106
R 1	4,733
R 2	1,343
R 2	1,380 (目標値)

※調査方法：米子市観光協会と米子まちなか観光案内所がとりまとめている利用者数を集計し、把握

※調査月：令和3年1月(前年1月～12月の合計)

※調査主体：米子市

※調査対象：城下町観光ガイド利用者

〈分析内容〉

観光ガイド事業は平成30年4月から民間の団体である「米子観光まちづくり公社」が行うこととなり、以降、観光ガイドコースを22コースから29コースに増やすなど、個人旅行者のニーズをより一層取り込むことに成功し、利用者数は大幅に増加した。令和2年については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数は減少したが基準値からは改善、基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えることができた。

## ●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

### ①. 山陰歴史館整備事業（米子市）

※基本計画における目標数値達成のための事業

山陰歴史館整備に伴う増加 増加見込み111人に係るもの

事業実施期間	【未】 [認定基本計画：平成28年度～平成31年度]
事業概要	米子城跡のガイダンスや城下町観光の拠点施設としても機能するように整備し、市民や観光客が気軽に訪れることができる環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】―― 山陰歴史館整備事業は完了していないが、多彩なソフト事業の展開を通して入館者数が増加し、城下町エリアにおいての来街者増加へと繋がった。
達成した（出来なかった）理由	山陰歴史館の入館者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、下町観光ガイドの利用者数は減少した。
計画終了後の状況及び事業効果	事業の完了により、111人の城下町観光ガイド利用者増加を見込んでいる。令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により下町観光ガイド利用者数の大きく減少したが、多彩なソフト事業を展開したことも1つの要因となり、令和元年については目標値を大幅に超える利用者数となった。
事業の今後について	様々な企画展等を開催していくとともに、山陰歴史館整備についてはサウンディング調査の結果も勘案しながら、引き続き今後の整備の方向性を検討していく。

### ②. 城下町米子観光ガイド（米子観光まちづくり公社）

※基本計画における目標数値達成のための事業

新規ルート設定による増加 増加見込み22人に係るもの

事業実施期間	平成13年度～ 【実施中】
事業概要	地元ボランティアガイドによる城下町の観光案内。 平成28年度からは既存のモデルコースだけでなく、新規コースの開発にも取り組むことによって、リピート客への対応や多様なニーズを受け入れる。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】―― 観光協会がガイド事業を行っていた平成29年度までは、4コースから22コースへと増加、平成30年度からは米子観光まちづくり公社が29コースのガイド事業を行っている。
達成した（出来なかった）理由	平成30年4月からガイド事業を「米子観光まちづくり公社」が行うようになり、リピート客への対応や個人旅行客の多様なニーズに対応することが可能となったことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	リピート客への対応や個人旅行客の多様なニーズに対応することが可能となったため、利用者の大幅な増加につながっている。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により下町観光ガイド利用者数の大きく減少したが、新たなコースの設計など、新規の顧客の取り込みも積極的に行っており、今後も利用者の増加が見込まれる。
事業の今後について	一層の官民の連携を図り、観光ガイド利用者の増加に努めていく。

③. まちなか「小路」案内板設置事業（よなごの88選実行委員会）

事業実施期間	平成26年度～30年度 【済】								
事業概要	中心市街地に残る約400年前の「町割り」を形成する「小路」の位置や名称を特定し、案内板を設置する。								
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし								
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】案内板設置 【最新値】案内板設置済 <u>目標達成</u> ・達成状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>設置数</td> <td>11枚</td> <td>16枚</td> <td>4枚</td> </tr> </table>		H26	H27	H28	設置数	11枚	16枚	4枚
	H26	H27	H28						
設置数	11枚	16枚	4枚						
達成した（出来なかった）理由	民間事業者の主導により当該事業は当初の計画どおりに進捗し、平成30年度に整備が完了した。								
計画終了後の状況及び事業効果	合計31枚の案内板が設置されたことにより、市民や観光客を城下町の面影が濃く残る町並みへ誘導し、「小路」の歴史や魅力をより感じながら散策することができるようになり、城下町観光ガイドの充実と交流人口の増加につながった。								
事業の今後について	事業は平成30年度に完了しており、事業成果を活用することで、観光ガイドの充実と交流人口の増加に繋げていく。								

④. 米子のまち 小路めぐりマップ作成（よなごの88選実行委員会）

事業実施期間	平成27年度～30年度 【済】
--------	-----------------

事業概要	まちなかの「小路」の歴史的な背景を学ぶと共に、現代の町の魅力や歴史的な背景を味わえるよう、楽しいまち歩き提案とマップを作成する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】マップ作成 【最新値】マップ作成済 <u>目標達成</u> ・達成状況 平成29年3月 マップ完成
達成した（出来なかった）理由	民間事業者の主導により当該事業は当初の計画どおりに進捗し、平成30年度に整備が完了した。
計画終了後の状況及び事業効果	平成29年3月にマップ完成。市民や観光客を城下町の面影が濃く残る町並みへ誘導し、「小路」の歴史や魅力を感じながら散策することにより、交流人口の増加につながった。なお29年度末には、集大成としてガイドブック「よなごの小路八十八選」が発刊され、30年度には増刷をしている。今後も城下町観光ガイドやまち歩きイベントでの活用が期待されている。
事業の今後について	事業は平成30年度に完了しており、事業成果を活用することにより、観光客の満足度の向上やリピーターの増加に繋げていく。

### ●今後の対策

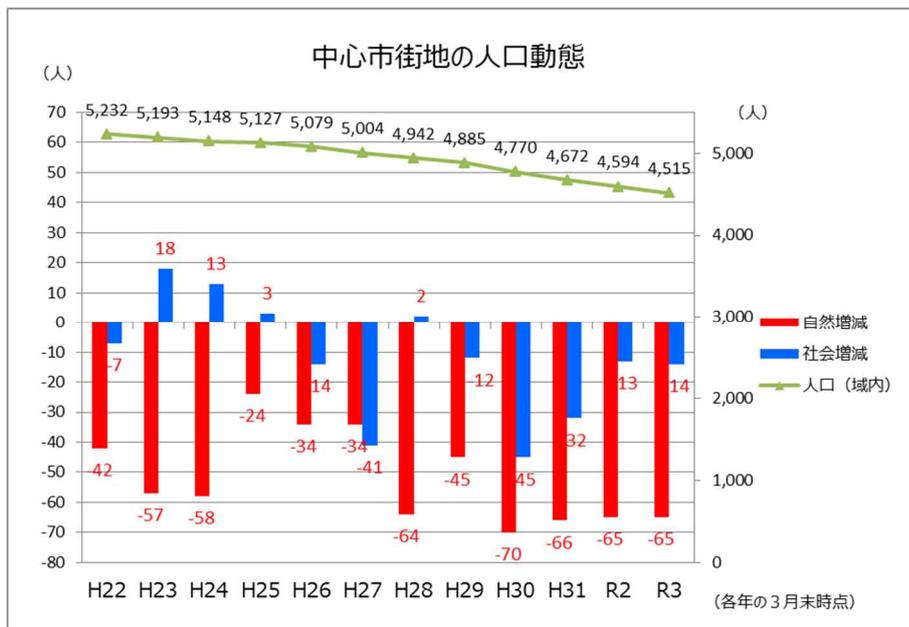
主要事業は概ね順調に進捗していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、目標は達成できなかった。しかしながら、基準値が目標値への増加見込みの数（424人）の8割以上の利用者数の増加を達成することができた。

今後も、積極的にまちなかの魅力をPRし、個人旅行客の取り込みやリピーターの増加につなげるとともに、周辺施設やイベントとの相乗効果を図り、更なる利用者の増加を目指す。

(5) 「人口の社会増減について」

※目標設定の考え方認定基本計画 P76～P79 参照

●調査結果と分析



年	(人)
H27	H22～27年の平均 -5人 (基準年値)
H28	2人
H29	-12人
H30	-45人
H31	-32人
R 2	-13人
R 3	-14人
R 3	H28～R3年の平均をプラスに (目標値)

※調査方法：住民基本台帳から集計

※調査月：令和3年4月（前年度4月～3月）

※調査主体：米子市

※調査対象：中心市街地区域内

〈分析内容〉

主要事業は概ね順調に進捗していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響も受け、令和2年度の中心市街地人口の社会動態については、昨年度に引き続きマイナスとなった。これは、民間共同住宅の竣工に伴う転入者以上に転出者があったためと考えられる。

人口の社会増に効果の高い大規模集合住宅は、中心市街地の周辺部で建設が続いているが、中心市街地内に誘導できていない状況である。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 民間共同住宅建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成27年度～ 【実施中】
事業概要	民間事業者による共同住宅の建設
国の支援措置名	国の支援措置なし

及び支援期間			
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】 4 棟／5 年  【最新値】 3 棟／5 年 <u>目標未達成</u>  (基準値から事業目標値までの幅の 8 割ライン 3 棟／5 年は超えている。)</p> <p>・達成状況</p>		
	エリア名	見込み (H27～R2年度)	実績 (H27～R2年度)
	日野町	1 棟	1 棟
	法勝寺町	1 棟	1 棟
	立町 1 丁目	1 棟	0 棟
	立町 2 丁目	1 棟	1 棟
合計	4 棟	3 棟	
達成した（出来なかった）理由	中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信の不足が目標未達成の要因と考えられる。		
計画終了後の状況及び事業効果	計画期間中には目標値に達成できなかったが、8割ラインは超えている。また、行政として新たな施策を展開することもあり、今後も継続して建設が見込まれる。また、当該地区以外でも共同住宅が建設されており、まちなか居住に繋がったと考えられる。		
事業の今後について	引き続き、中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間事業者による開発の後押しをしていく。また、立地適正化計画による居住誘導区域の設定や優良建築物等整備事業の実施等により効率的なまちづくりを進める。		

②. まちなか空家活用プロジェクト（米子まちなか空家活用プロジェクト運営会議）

事業実施期間	平成25年度～ <b>【実施中】</b>								
事業概要	空き家を改修し、地域交流スペース機能を備えた若者向けシェアハウスの整備及び「岩倉ふらっと」の管理・運営								
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし								
事業目標値・最新値及び達成状況	<p>【目標値】 2 件／5 年  【最新値】 1 件／5 年 <u>目標未達成</u>  ・達成状況</p>								
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	整備数	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
達成した（出来なかった）理由	平成25年度に整備された「岩倉ふらっと」は、毎年、シェアハウスの利用があり一定の効果があった。しかし、その後のシェアハウス整備については、マッチングに至らなかった。								
計画終了後の状況	現在、新規物件の掘り起こしについては停止中。「岩倉ふらっと」につい								

況及び事業効果	ては、現在2名（定員3名）が入居中。イベントについては、令和2年度は2回開催され、地域に開かれたイベント拠点として活用されている。
事業の今後について	他団体とも協力して新規物件の掘り起こしを行い、「岩倉ふらっと」においては安定した管理・運営につとめる。

③. 超小型モビリティ導入実証実験事業（(株)岡田商店）

事業実施期間	平成26年度～29年度 【済】
事業概要	超小型モビリティ（1～2人乗りのコンパクトなEV）を使った新たな交通サービスを提供し、中心市街地の回遊性の向上や、便利で暮らしやすいまちの機能向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】―― 平成26年11月～平成29年11月の期間で、新たな交通サービス創出の足掛かりとなる超小型モビリティによるカーシェアリングサービスの導入実証事業を実施した。事業期間中の利用件数は累計26件あった。
達成した（出来なかった）理由	地域住民によるカーシェアリング的な活用は現段階で見込まれないこと、特別な維持点検費がかかり採算性に課題があることから、米子市で運行した車両の利用は低調に終わった。
計画終了後の状況及び事業効果	実証実験事業としては平成29年度に完了しており、地域住民によるカーシェアリング的な活用は現段階で見込まれないこと、特別な維持点検費がかかり採算性に課題があることが明らかとなった。
事業の今後について	今後、事業により得られた知見を活用し、中心市街地の回遊性の向上や、便利で暮らしやすいまちの機能向上を検討していく。

④. EVカーシェア事業（(株)岡田商店）

事業実施期間	平成26年度～29年度 【済】
事業概要	EV（電気自動車）・PHV（プラグインハイブリッドカー）を使ったカーシェアリングサービスを提供し、便利で暮らしやすいまちの機能向上、及び安心なまちづくりの推進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】―― 平成26年4月～平成29年4月の期間で、新たな交通サービス創出の足掛かりとなるEVカーシェアリングサービス事業を実施した。事業期間中の登録会員数は37名であった。
達成した（出来なかった）理由	地域住民によるカーシェアリング的な活用は現段階で見込まれないことから、米子市で運行した車両の利用は低調に終わった。
計画終了後の状況	事業としては平成29年度に完了しており、地域住民によるカーシェアリ

況及び事業効果	ング的な活用は現段階で見込まれないことが明らかとなった。
事業の今後について	今後、事業により得られた知見を活用し、中心市街地の回遊性の向上や、便利で暮らしやすいまちの機能向上を検討していく。

⑤. 空き家活用プロジェクト「わだや小路」事業（NPO 法人まちなかこもんず）

事業実施期間	平成 27 年度～ 【実施中】
事業概要	空き家を活用した、レンタルスペース、レンタルオフィス、ゲストハウス・多目的トイレの整備及び「わだや小路」の管理・運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】―― 新型コロナウイルス感染症の影響で、レンタルスペースやレンタルオフィスの利用団体数や人数は令和元年度に比べ大幅に減少した。また、ゲストハウスについては、廃業となった。
達成した（出来なかった）理由	レンタルスペースやレンタルオフィスについては一定の利用は継続されているものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響で休業していた期間もあり、利用者は減少した。また、ゲストハウスについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、廃業となった。
計画終了後の状況及び事業効果	平成 27 年にレンタルスペース、レンタルオフィス、ゲストハウス・多目的トイレを整備し、平成 28 年初めに多機能な地域コミュニティ拠点施設としてオープンした。新たな地域コミュニティの拠点として魅力ある地域づくりに貢献している。
事業の今後について	今後も整備したスペースと設備を活用して、多機能の地域コミュニティ拠点施設としての「わだや小路」の管理運営事業を行い、魅力ある地域づくりを行っていく。

⑥. 移住定住推進事業（お試し住宅）（米子市）

事業実施期間	平成 26 年度～ 【実施中】
事業概要	米子市への移住・定住を希望している者を対象に、一定期間居住してもらうための「お試し住宅」の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】―― 中心市街地のお試し住宅を含む 3 軒を運営しており、市外からの中心市街地への移住に貢献している。令和 2 年度における中心市街地のお試し住宅利用は 3 件、4 人であった。
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染拡大を受け、お試し住宅の入所申し込みを停止していた時期もあり、利用件数は令和元年度より減少した。
計画終了後の状況	令和 2 年度のお試し住宅利用は減少したが、米子市への移住・定住の相談

況及び事業効果	件数は一定数ある。
事業の今後について	今後もお試し住宅の運営、移住後の移住者支援団体と連携した交流会への参加をとおして、中心市街地への移住・定住の促進に繋げていく。

⑦. 移住定住相談窓口の設置（米子市）

事業実施期間	平成 26 年度～ 【実施中】
事業概要	定住に関する制度や支援策を積極的に情報発信するとともに、ワンストップの相談窓口を整備することにより、本市への IJU ターンを促進する事業。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】―― 令和 2 年度の相談件数は、214 件あった。
達成した（出来なかった）理由	IJU ターンを希望する相談者に対し、就職、子育て、医療、高齢者サービス、住宅の紹介等をワンストップサービスで実施。東京及び大阪で開催された県定住機構主催の移住定住相談会に参加し、IJU ターン希望者の相談を実施している。また、市のホームページ、SNS、移住定住ガイドブックを活用し、積極的に情報発信を行っている。
計画終了後の状況及び事業効果	令和 2 年度の相談件数は 214 件となっており、191 人の中心市街地への移住につながっている。
事業の今後について	今後も情報発信、移住相談をとおして、中心市街地への移住の促進を図っていく。

⑧. 高齢者地域コミュニティ支援事業（NPO 法人地域福祉ネット）

事業実施期間	平成 24 年度～ 【実施中】
事業概要	介護保険など公的サービスで対応できない高齢者の生活、暮らしの安心、安全の向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】―― 事業の利用団体数や人数は令和元年度に比べ大幅に減少した。
達成した（出来なかった）理由	積極的な活動、利活用を行っており、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり利用者は減少したが、継続して利用している常連団体もあり、今後は利用者の増加が見込まれる。
計画終了後の状況及び事業効果	有償ボランティアによる高齢者の生活支援サービス（まちなかサービス）を行っており、介護保険に該当しない高齢者に対し、相互扶助型のサービスを提供している。また、認知症患者とその家族が運営するカフェや、認

	知症予防プログラムの実施など、地域の高齢者コミュニティの支援も精力的に行っている。
事業の今後について	まちなかサービスの一層の利用増加と協力会員の増加をとおり、高齢者の生活、暮らしの安心、安全の向上を図っていく。

⑨. 米子市中心市街地総合情報発信事業（旧中心市街地情報提供事業）（NPO 法人まちなかこもんず）

事業実施期間	平成 21 年度～ 【実施中】
事業概要	中心市街地に関する空き家・空き店舗情報やイベント情報などの起業・Uターン・居住などを支援する様々な情報を、WEB ホームページをとおして総合的に提供することにより、中心市街地の再生・活性化を図るための事業。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【目標値】 ー 現在、ホームページで 3 件の物件情報を発信している。
達成した（出来なかった）理由	令和元年度に空き家・空き店舗情報発信に特化させたホームページにリニューアルさせたが、提供できる物件情報が減少したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	現在、新規物件の掘り起こしについては停止中ではあるが、古民家をリノベーションしたシェアハウス、シェアオフィスの物件情報の提供をとおしてまちなかでの居住、起業の促進を図っている。
事業の今後について	今後も引き続きホームページでの情報発信をとおして起業・Uターン・居住などを支援し中心市街地の再生・活性化を図っていく。

●今後の対策

中心市街地の人口の社会増減については、令和元年度は昨年度に引き続きマイナスとなった。今後も、中心市街地の高い機能性や利便性を情報発信し、民間共同住宅の建設や空き家活用を促すことに積極的に取り組んでいくとともに、立地適正化計画による居住誘導区域の設定や優良建築物等整備事業の実施等により効率的なまちづくりを進めることで人口の社会増を目指す。